

経済統計 練習問題

第3回 全数調査と標本調査

2009 年 10 月 5 日

問 以下の文章を完成させよ。

統計調査には調査対象すべてを調査する {(a) 全数調査 (b) 標本調査} と、その一部を取り出して調査する {(a) 全数調査 (b) 標本調査} の 2 種類がある。

{(a) 全数調査 (b) 標本調査} には時間や費用が削減できるなどのメリットがあるが、抽出した標本ごとに結果が異なるという [] の問題がある。また、{(a) 全数調査 (b) 標本調査} には母集団のリストを作成する役割があるので、すべての調査を {(a) 全数調査 (b) 標本調査} とすることはできない。

世帯についての全数調査は [] である。この調査は [] 年ごとに実施されるので、次回調査は [] 年である。

事業所・企業に関する全数調査としては、全業種の事業所・企業の活動状況を明らかにし、産業構造を包括的に調査する [] がある。2009 年には、事業所・企業の補足に重点をおく基本調査が実施され、[] 年には、経理項目に重点をおいた活動調査が実施される。

また特定の業種に対する全数調査として、製造業を対象とした []、卸・小売業を対象とした [] などがある。